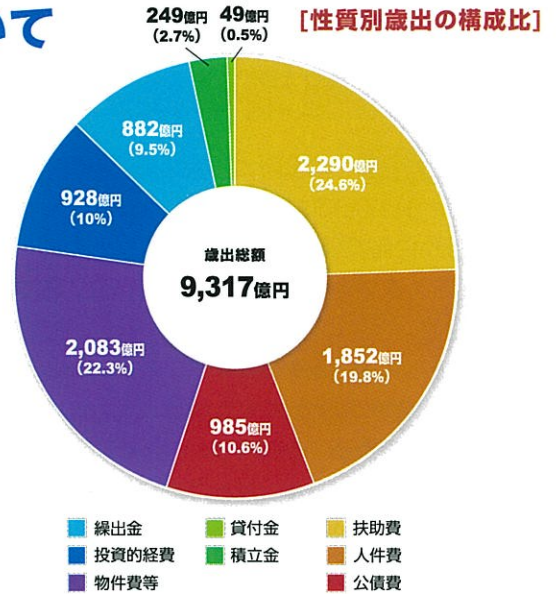
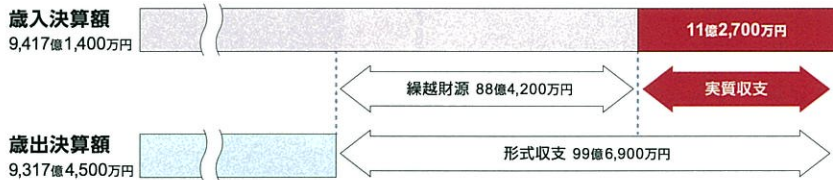


神戸市会は令和5年第3回定例市会において 令和4年度決算を 認定しました

[令和4年度]

一般会計決算収支の状況



決算について

川口まさる議員から代表質疑がありました

金利による財政への影響について

川口まさる議員 令和4年度決算において、一般会計の歳入総額は9,417億となり、11億円の實質黒字を確保したことが説明されている。税金は3,141億円となっている。他方で、世界的にインフレへの対応が課題となる中、金利上昇による今後の財政負担や大型投資への影響、見直しについて、所見はどうか。

今西副市長 日本銀行は2013年より量的・質的金融緩和を開始し、継続してきたが、賃金の上昇を伴った安定的な物価上昇を目指すため、昨年12月と本年7月に金融政策を修正し、10年国債の金利である長期金利の上限の引き上げを行った。今後も景気動向や物価水準等に応じ我が国の金融政策が修正される可能性は高く、不透明な金利情勢は続くものと認識をしている。一方、神戸市は阪神・淡路大震災以降、一般会計で1兆円の市債を発行し、その後、投資的経費の大幅な抑制により、市債残高の削減に努めた結果、臨時財政対策債を除く市債残高は過去最大の平成9年度に比べ1/3程度の水準まで減少してきている。また、高い金利の市債償還が済み、本市の利子負担は低下傾向にある。今後の金利水準や投資の規模によっては、新規発行に係る金利負担が増える可能性はあるが、市場動向を注視し、適切なポートフォリオを組みながら、引き続き安定かつ低利な資金調達に努めたい。

川口まさる議員 財務省は、令和6年度予算の概算要求で想定金利を1.5%へと切り上げた。債券市場における長期金利の上昇傾向を反映し、想定金利を引き上げたものと思うが、それはつまり金利上昇による国債費の増加を織り込んだことになる。神戸市において、令和4年度一般会計の歳出総額9,317億円のうち、公債費が985億円と10.6%を占めている。今後、どの程度の影響があるのか見積もっておく必要があると考えるが、どうか。

今西副市長 この金利上昇による影響を見込む前提条件として、仮に、市債発行額を916億円と見込み、金利をプラス0.2%と計算すると、新規発行に係る金利負担が年間1.8億円増加する計算になる。一方で、金利の高い市債の償還が行われており、利子負担は低下して、例えば令和3年と4年との比較では5億円低下している。金利上昇と金利低下の影響があり、今のところは、そう大きな影響が出てくるような状況にはないと考えられる。ただ、今後とも市場の動向を注視し、安定かつ低利な資金調達に努め、健全な財政運営に努めたい。

川口まさる議員 直ちに大きな影響が出てくるものではないということが分かったので、安心した。ただ、これが今後どれくらい続くのか、下がるのか、今後もっとひどくなっていくのかというのは分からない。いろんなシナリオを想定して、リスクに備えるようお願いしたい。

決算について 川口まさる議員から 代表質疑がありました

三宮再整備事業について

川口まさる議員 市役所本庁舎2号館の再整備について、現在、設計が進められていると聞いている。提案概要では、新2号館ビルは、庁舎のほかに商業施設やオフィスを備え、また、国際的なラグジュアリーホテルを誘致すると説明されている。提案概要の外観イメージ図も上品で洗練されたものとなっていて、私としては実際に見られる日をとて楽しみにしている。ただ、実際の詳細なデザインについては、今後の設計の中で決まってくるものと聞いている。あくまで民間事業者が建設するものとはいえ、新2号館ビルは各線三宮駅とウォーターフロントとの間に位置し、神戸の新たなランドマークにふさわしいビルとなしてほしい。デザインの決定について、今後、市としてどのように関与していくのか。

今西副市長 新2号館は、行政機能の庁舎と市民利用空間、民間機能のホテルやオフィス、商業という多様な用途で構成された複合施設として整備する計画となっており、2028年度の完成に向けて、現在、基本設計を進めている。外観のデザインについては、事業者提案において「都心三宮、旧居留地、ウォーターフロントをつなぐクロスポイントとしての立地を生かし、周辺エリアの町並みと調和しつつ、伸びやかな景観を創出する」というコンセプトが提案された。その上で、港町神戸を感じさせるランドマークとして、神戸らしい上質で落ち着いたデザインとすることや、まちに開く水平方向のデザインを取り入れることなどが示された。具体的には、例えば1号館との調和や旧2号館の意匠の継承を図り、繊細なラインを基調としたデザインを採用するとともに、連続性のあるコーナーデザインを取り入れるほか、北側低層部に広場空間を設け、周辺エリアへの開放性と広がりをもたらすことなどが提案をされている。現在、市と事業者で設計協議を行っており、外観デザインについてさらなる検討を進めている。



北東からの外観イメージ

川口まさる議員 当該ビルに開業予定の国際的なラグジュアリーホテルについて、現在、2号館再整備事業者とホテルの運営事業者とが協議を行っているところと聞いている。将来のインバウンドの増加を見据え、また、特に海外富裕層を獲得するためにも、国際的なラグジュアリーホテルの誘致は必要だと考えているが、今どのような状況にあるか。

久元市長 2号館再整備事業においては、この立地にふさわしい高質な都市機能として、高層部に国際的なラグジュアリーホテルを誘致することが事業者から提案されている。神戸の風格ある町並みを形成し、良質なホテルステイとまた来なくなる非日常感を味わうことができるハイグレードなホテルになるのではないかと期待している。現在、2号館再整備事業者とホテルの運営事業者との間で

正式な契約に向けて協議が進められている。国際的なラグジュアリーホテルの誘致に向けて、ホテルの運営事業者との間で既に基本合意を締結するなど、着実に協議が進んでいる。具体的なホテルブランド名については、民間事業者とホテル運営事業者との間で契約が調い、公表できるタイミングとなった段階で示したい。



北東上空からの外観イメージ

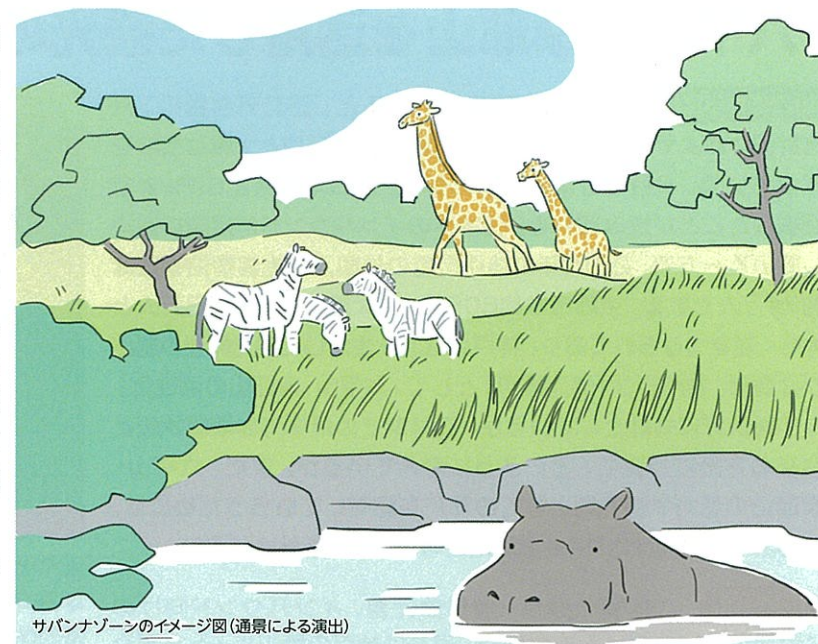
王子公園再整備について

川口まさる議員 私は昨年9月の本会議においても王子公園再整備基本方針（修正素案）を取り上げ、「この方針に沿った再整備によって、動物を間近で観察できたり、動物の生息環境や生態に配慮した展示ができるようになる」と期待している」と述べ、また「動物園の明るい将来像についても、なるべく具体的なイメージを、市民に対して、絵や写真を用いて視覚的に伝えていくべき」と述べている。先日の常任委員会における資料には、王子公園再整備基本計画（素案）が添付されていたが、その中には、「新たな展示方法の導入」として、新たに「通景」といった表現も出てきている。具体的にどのような展示方法や仕掛けを実装していくのか。

今西副市長 リニューアル後の獣舎配置については、動物が生息する地域や気候風土との関連性、動物の形態や機能の違いが分かりやすいよう、9つのゾーニングを行い、それぞれゾーンごとに獣舎を配置していきたい。また、それぞれのゾーンを巡りながら、各地域に生息する動物を観覧しているように感じられるストーリー性のある仕掛けなどを設け、観覧できるようにしていきたい。動物の展示方法については、動物の生息環境を再現し、本来の生態や暮らしの様子が観察できる展示や装置の工夫などにより、動物本来の能力や行動を引き出す展示など、動物種ごとの特性などに応じて飼育環境の向上を図り、生き生きとした姿を引き出す展示方法を積極的に導入したい。具体的には、動物との出会いを様々な楽しめるよう、例えばキリンとシマウマなどの展示場の並べ方によって、あたたかもアフリカのサバンナで観察しているような観覧ができる

「通景」による演出を行うこととし、その視覚的イメージ図を基本計画素案に掲載をさせていただいた。また、地形や樹木を活用した立体感のある展示や、野生動物が生息する現地に観覧者が入り込んだ感覚で動物を間近に観察できる観覧ブースの整備など、様々な工夫を凝らし、魅力ある動物園にしていきたい。

川口まさる議員 王子公園の再整備について、老朽化している施設のリニューアルやバリアフリー化だけにとどまらず、より多くの市民にとって現在よりさらに魅力的な施設になることが求められる。動物園については、私は、モートなど高低差を利用して動物と人間を仕切る「無柵放養方式」を例示していた。同様の発想に立った「通景」などを取り入れ、生息環境を再現し、動物たちがより自然に近い環境で暮らせれば、動物本来の自然な行動を観察することもでき、人々にとっても魅力的な動物園になると思う。

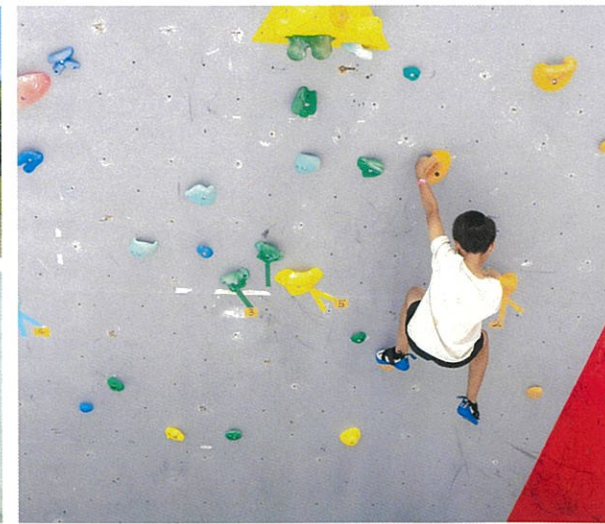


サバンナゾーンのイメージ図（通景による演出）

川口まさる議員 スポーツゾーンの広場については、王子公園再整備基本計画（素案）には、「現状の「ちびっこ広場」と「わんぱく広場」を合わせた広さを確保した「みんなの広場」を整備し、幅広い年齢層が利用できる施設を整備」と記載されている。広場を一体的に活用することで多様な市民ニーズに応えることができるなら望ましい。例えば3X3やスケートボードなどのアーバンスポーツを取り入れるなど、これまでの王子公園ではできなかったスポーツにも親しめるような環境整備を行い、様々な人々が訪れたいような空間にすべきと考えるが、どうか。

久元市長 これまで使っていたいただいている方の意見も非常に大事だと思う。そのような視点も踏まえながら、さらに計画の具体化を図っていきたい。

川口まさる議員 5人制のバスケットボールについては、今月10日まで開催されていたワールドカップで日本代表がオリンピック出場を決めた。沖縄アリーナにおけるチケットの売上げは目標を上回る12億円に達する見込みということだ。また、兵庫県においては「西宮ストークス」が今年7月「神戸ストークス」への改名を発表したところでもある。バスケットボールは盛り上がってきていると思う。3X3のほうは3人制のバスケットボールで、ハーフコートでプレーする。この夏には神戸や西宮でもプロチームによる試合があったので、実際に見に行ってきた。至近距離で観戦でき、大変迫力があつた。DJが音楽で場を盛り上げるなど、スポーツと芸術



が融合した新しいエンターテインメントだと感じた。その他の事例では、先日、渋谷のミヤシタパークを視察してきたが、そこにはボルダリングウォールとか、スケート場も設置されていた。民間が整備しているが、様々なスポーツを楽しめる魅力的な施設だと感じた。ミヤシタパークにはショッピングモールとしての機能もあるし、そもそも神戸と渋谷区とは地域特性も異なるので、直接応用できるものではないと思うが、それにしても、ミヤシタパークは若者でにぎわっていて、参考にしたい事例だと感じた。新たなスポーツ施設の整備について、市長において何か考えていることはあるか。

久元市長 宮下公園には私も行った。私も学生のときから宮下公園はよく知っているが、ここまで変わるのかというぐらいに、もう本当に大きく変わった。今、ご指摘のような新たなタイプのスポーツ施設などを整備し、非常におしゃれなカフェやレストランも整備している。神戸の公園整備などの参考になるのではないかと行って行ったが、全体のコンセプトを神戸に取り入れるということはなかなか難しいとは思いますが、あのような視点を、これからの神戸の公園整備の中に取り入れられる、参考になる部分もあろうかと思う。例えばスポーツ施設について言うならば、大規模なスポーツ施設を今すぐに何か新しいものを検討しているわけではない。一方で、身近なスポーツに触れる機会ということになると「西宮ストークス」が神戸に移ってきて「神戸ストークス」となる。子供たちが、バスケットボールをより身近なところで楽しむことができるようにするには、ゴールの増設というのも非常にあるのでは

ないかと。この辺は既存の公園の中でもできる話なので、また様々なご意見も伺いながら、ゴールの増設について検討していければと思う。

川口まさる議員 公園の中にゴールがあれば、3X3であればハーフコートでできるから、気軽にチャレンジできるようになると私は感じている。バスケ、アーバンスポーツ、バラスポーツも含めて、年齢や性別にかかわらず、大勢の人々が様々なスポーツに気軽にチャレンジできる環境が整備されれば、経済効果だけに限らず、例えば健康増進など、いろんな形で、市民の幸福に繋がっていくように思う。よろしくお願ひします。

六甲山・摩耶山を活用した観光の増進について

川口まさる議員 日本政府観光局によると、訪日外客数の7月推計値はおよそ232万人となり、6月から12%増と大幅な増加を見せている。8月推計値については、2019年同月比85%まで回復したことが読み取れる。日本へのインバウンドが順調に回復している一方で、2019年の神戸市内の外国人観光客宿泊者数は約74万人である。京都市は約606万人、大阪市は約1423万人と大きく差をつけられており、神戸の魅力を生かした観光需要の創出が必要だ。神戸市は「観光振興」として「六甲山・摩耶山の活性化」を本件決算にも計上しているが、これまでの具体的な取組状況と今後の方針について、どのように考えているか。また、六甲山・摩耶山の魅力や観光地としての神戸を認知してもらうためには、海外観光客に向けたPRも必須だと考えるが、所見はどうか。

久元市長 ご指摘の通り、海外観光客、インバウンド向けの情報発信というのは大変重要だ。現在は神戸の登山ルートを紹介するウェブサイトの多言語化を行っており、海外からは月間2500のページビューがあり、台湾、香港、シンガポールなどからのアクセスが多い。海外の情報発信にはまだまだいろんなアプローチがある。広報戦略部、神戸観光局が連携し海外情報発信への新たな取組ができないか、ご指摘を踏まえ、しっかりと取り組みたい。

川口まさる議員 六甲山・摩耶山を活用した観光振興について、山上へのアクセスが課題の1つだと思う。山上へのアクセス案について検討している「六甲山・摩耶山の交通のあり方検討会」は、市街地から摩耶山への新たなアクセス案3案について、採算性の分析結果を公表した。A案の摩耶ロープウェイの大型化とB案のまやビューラインの全体のロープウェイ化については、楽観シナリオにおいても赤字を見込む一方で、ハーブ園山頂駅から掬星台の区間にロープウェイを新設するC案については、楽観シナリオでは黒字も見込めると試算されている。市街地から山上への交通アクセスの改善は、山上の活性化に有効と考えるが、これらの試算はどのような前提条件に基づいて行われたのか。また、今回の試算を踏まえて、今後どのように山上へのアクセスを検討していくのか。



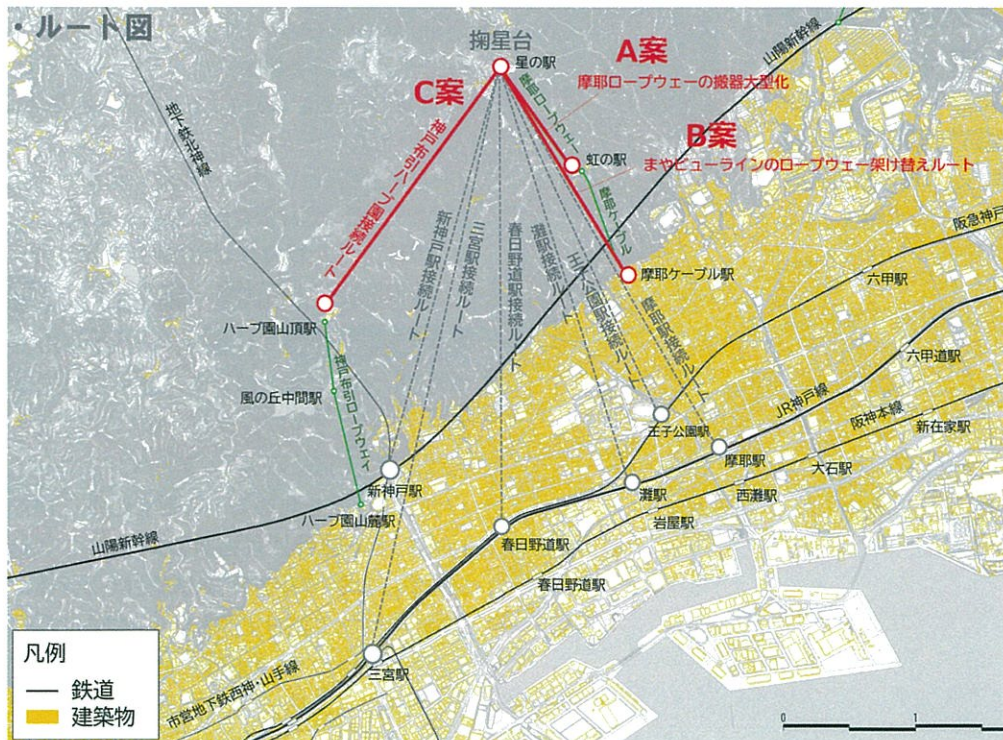
まやビューラインは、年末年始に夜間特別運行と初日の出特別運行を実施します。

夜間特別運行・初日の出特別運行ダイヤ	12/29	30	31	1/1	2	3
始発	10:00	10:00	10:00	6:00	10:00	10:00
星の駅 下り最終	19:50	19:50	17:30	17:30	19:50	19:50

今西副市長 今、ご指摘をいただいた摩耶山上へのアクセス案3案については、有識者検討会議において幅広く検討を行う中で、委員より提案をいただいた案である。市として3案の実現可能性を調査し、この9月11日に開催した第7回検討会において、需要予測及び事業採算性を提示した。この事業採算性の試算は、市内来訪者約4000人のウェブアンケートによる需要予測を基に、建設費の事業者負担は考慮せず、ランニングコストのみの概略収支を算出したものである。第7回検討会においては、ご指摘のように、神戸布引ロープウェイを掬星台まで延伸する案(C案)は、黒字化が見込めると試算され、各委員から前向きな意見を多く頂いた。一方で、神戸布引ロープウェイ延伸案(C案)の整備に当たっては、摩耶山上の再整備による観光需要の創出や、摩耶山から六甲山上へのアクセス強化による回遊性向上を併せて行う必要があるという意見も頂いている。また、国立公園の特別保護地区及び第1種特別地域では、ロープウェイの新設が認められていないことや、事業費

に見合う経済効果についての検証が必要であることなど、課題もある。今後、検討会での議論を深め、その取りまとめを受け、市として市街地から山上への交通アクセスの在り方について引き続き検討したい。

川口まさる議員 六甲山・摩耶山をはじめ、神戸には人を引きつける観光コンテンツがたくさんある。しかし、実際に観光に来てもらうためには、交通インフラが欠かせない。空港からホテルへと、観光スポットへと、レストランへと気軽に移動できる環境整備が不可欠だと思う。例えば、新神戸と掬星台の間をロープウェイで移動できれば、観光客にとって便利だろうと思うし、ロープウェイから望む景色や、乗ること自体も、魅力的な観光コンテンツになり得る。算定に用いるパラメーターについては丁寧に点検しながら、引き続き検討をお願いします。



日本維新の会 神戸市会議員 兵庫区選出



いわたに

岩谷しげなり vol.01 通信

■プロフィール

神戸市立六甲アイランド高校(音楽コース)卒業
大阪音楽大学作曲学科を最優秀賞を得て卒業
在学中より国内外で音楽活動
慶應義塾大学法学部政治学科卒業
京都大学法科大学院修了
司法試験合格
弁護士として医療や家族の問題解決等に奔走
2023年神戸市会議員選挙で初当選



ご挨拶

4月の神戸市会議員選挙で当選致しました、岩谷しげなりでございます。

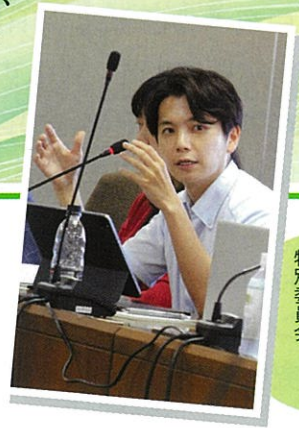
私が愛する神戸は現在、人口流出待った無しの状況であります。特に若い世代が、どんどん神戸から出ていってしまっております。この流れが続けば、経済、福祉、防災等が疲弊するだけでなく、これまで長年、兵庫区を支えてくださったご高齢者の方々の生活をも、守っていくことが難しくなってまいります。

現状を打破し、これまで以上に「選ばれ続けるまち、兵庫・神戸」を作るべく、日本維新の会神戸市会議員団の一員として、岩谷しげなり、常に危機感を持ちながら市政改革に取り組んで参ります。

今後とも、ご指導賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



令和5年6月14日
教育こども委員会

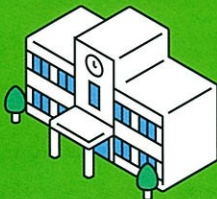


令和5年7月26日
外郭団体に関する
特別委員会

令和5年 3つの委員会等に 所属となりました。

1 教育こども委員会

こども家庭局
及び教育委員
会の所管に属
する事項を審
査します。



2 外郭団体に関する 特別委員会

市の出資法人に
関し、その運営の
実態を把握すると
ともに事業効果に
ついて調査します。



3 神戸市都市計画 審議会

市長の付属機関で、用途地域等
の土地利用に関することや道路・
公園等の都市施設、市街地再開
発事業、土地区画整理事業など、
神戸市の都市計画について審
議等を行います。

区民の皆様から頂いた声を、それぞれの分野でしっかり届けて参ります!

第2回定例市会本会議において 一般質問を行いました



関西経済圏の連携で、神戸に成長を!

■岩谷

神戸市は現在、大阪万博の開催に向けて戦略を練っているが、万博はあくまでも一過性のイベントである一方、IR(統合型リゾート)は持続する施設である。開業予定時期まで、あと7年しかない。機会損失を生まないためにも、今から長期的な視点で、かつスピード感を持って観光戦略を練っていく必要がある。そこで欠かせないのが関西経済圏の連携。IRに訪れる方々がどのようなルートで観光や買い物をしていくかなどの、送客に関するビッグデータの共有も考えられる。また大阪ではIRや買い物、京都では伝統文化に触れた後に、神戸においては温泉やゴルフ場でゆったり過ごすといったパッケージでプロモーションを行なっていく戦略もあり得る。今後、関西エリアの他の自治体との連携について、当局の見解は?

■今西副市長

今後、神戸空港の国際化やIRなど、関西経済圏を取り巻く観光需要は大きく変化するというふうに見込まれている。関西エリアの他の自治体との連携を一層深め、一体となったプロモーションを実施することが、大変重要になってくると考える。観光客の消費行動などを把握できるビッグデータの分析も、マーケティング手法の1つとしてどのように活用できるのか、研究していきたい。

■岩谷

兵庫県・大阪府連携会議がこれまで2度開催されており、交通や産業、観光に至るまで、様々な話合いがされてきました。第1回会議においては、斉藤・吉村両知事から久元市長へ参加を望む声もあった。今後、



久元市長に対し、両知事から呼びかけがあった際、神戸経済のために参加される御意向はあるか?

■久元市長

神戸市にとっても、その効果を最大限取り組む上で意義があるというふうに考えている。仮に3回目の兵庫・大阪連携会議が呼びかけられた場合には、この協議会での議論を踏まえながら、またその連携会議でどのようなテーマで議論が行われるのかということも踏まえながら判断をしていきたい。

■岩谷

むしろ神戸市のほうから呼びかけても良いと考える。これまでの神戸経済の成長は、大阪経済の成長と共に歩んできたという側面がある。大阪が国際金融都市を目指している今こそ、その果実を自治体間の壁を乗り越えて、神戸もつかみ取っていくと必要があると思う。ぜひともそういった視点からの経済戦略の構築をお願いしたい。

ギャンブル依存症対策も忘れずに

■岩谷

IRの開業は、インバウンド客の増加など神戸にとって好ましい影響がある一方で、ギャンブル依存症の増加を懸念する声もある。全国で約200万人が依存状態にあると推計される一方で、本人が認めない場合が多く、関係機関の連携体制が乏しいことなどにより、本人や家族が必要な治療、支援に結びつき難く、表に出にくい問題である。ギャンブル等依存症対策基本法が施行され、ギャンブル依存症の課題意識が高まる中、これからどのように対応していくのか。

■小原副市長

依存症家族への支援を強化するために、家族が本人の回復に向けて、依存症に関する正しい知識や本人への対応を学ぶことができる依存症家族支援プログラムの構築に向けて検討をしている。また、ギャンブ



ル依存に悩む本人、家族、特に若年世代に向けては、検索連動型広告を活用して、早期の相談につなげることができるよう啓発の強化も図りたい。今後も関係機関等との連携を図って、ギャンブル依存症対策の充実に努めてまいりたい。

■岩谷

弁護士をやっていれば、ギャンブルを原因として多重債務に陥った方であったり、DVやネグレクトの被害者、さらには犯罪を犯してしまった方などにしばしば直面する。近年は生活保護受給者のギャンブル通いであったり、児童手当の使い込み、さらには違法であるはずのオンラインカジノにはまる若者が社会問題ともなっている。学校教育や啓発活動での予防、そして発見、適切な機関や制度での対処という一連の流れを意識した取り組みをお願いしたい。ギャンブル依存症に対して、この理解促進のために、関係するアクターへのギャンブル依存症に関する研修等も、ぜひともお願いしたい。

国際都市として神戸も路上喫煙全面禁止を!

■岩谷

本市では条例上、市内全域が路上喫煙禁止となっているが、あくまでも努力義務であり、過料処分の対象となる指定地区は三ノ宮駅や六甲道駅周辺など、ほんの一部に留まる。兵庫区は、過料処分の対象区域外であり、路上喫煙のみならず、たばこのポイ捨てもしばしば見受けられ、区民の方からの苦情を耳にする。海と山が育むグローバル貢献都市をビジョンとして掲げ、さらにはその基本目標の1つに安心、健康でゆとりある暮らしの実現を掲げる神戸市としても全面禁止に踏み切るべきでは?

■今西副市長

路上喫煙禁止地区はシンボリックエリアとして限定的に地区指定し、禁止地区以外への啓発効果を波及させることを狙いとしたものであり、一定の効果が出ているものと考えている。今後とも喫煙者の多い駅周辺などに民間啓発員を集中的に配置し、注意指導を徹底するなど、啓発活動をさらに強化させていきたい。

■岩谷

マンパワーにも限りがある。また現在の喫煙所の設置状況では、現実的に考えても、路上喫煙防止に至る



ことは極めて困難である。喫煙所の設置には費用、場所確保等の問題があるが、例えば大阪市や東京都千代田区のように、補助金制度の創設であるとか、既存施設の協力を得て、当該施設内での喫煙所の広報であるとか、様々な施策が考えられる。

■今西副市長

民間事業者の協力による整備ということも含めた喫煙所の確保について、今後とも取り組んでまいりたい。



皆さんの声を
お聞かせ
ください!

皆さんからいただいたご意見は神戸市政に反映するため提案してまいります。アンケート調査へのご協力をぜひお願いいたします。

あなたのお考えに当てはまるところに○をつけてください。

- 神戸市の現状に満足していますか?
①満足している ②ある程度満足している ③ふつう ④やや不満 ⑤不満(理由)
- 日本維新の会 神戸市議員団は身を切る改革を実施しています。議員の月額報酬20%相当12万円(手取り額)を被災地等に寄付しています。皆さんはご存じですか?
①知っている ②知らなかった
- 神戸市議員に市政相談などで接したことがありますか?
①知人などを通じて接した ②地域行事などで接した ③市政相談や意見交換をした ④ない
- あなたの意見や市民の声が神戸市政に反映されていると思いますか?
①思う ②やや思う ③思わない ④わからない ⑤その他()
- 神戸市兵庫区での要望や、あったらいい事柄があればお書きください。
例) 子育て支援、空家対策についてなど

ふりがな	
お名前	
ご住所	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	

ほんとに
還付金?

不審な電話にご注意を!!

高齢者に対し、区役所職員などのふりをして医療費（健康保険料等）などの還付金があると連絡し、ATMに行くように誘導し振込みをさせようとする、いわゆる「還付金詐欺」に関する相談が区役所に多く寄せられています。

**銀行・コンビニのATMで還付金の手続きはできません!返金されることはありません!
「ATMで医療費・保険料・税金などを返金します」というのは、詐欺です!**



特殊詐欺被害に遭わないために...



Point

01

ナンバーディスプレイ機能や、特殊詐欺対策電話機※を活用して「知らない番号の電話には出ない、会話をしない」。在宅中でも常に留守番電話機能を使用し、留守番電話メッセージを活用しましょう。

※神戸市では「特殊詐欺対策電話機等の購入に対する補助制度」を実施しています。詳しくは神戸市総合コールセンター（電話078-333-3330、FAX:078-333-3314）までお問い合わせください。

Point

02

「還付金がある」「還付金の手続きができていない、期限が過ぎている」などの内容で電話がかかってきたら還付金詐欺を疑ってください。健康保険料などの還付金に心当たりがある場合でも、すぐにATMに行ったりせず、最寄りの区役所などに問い合わせ、内容を確認しましょう。



Point

03

自治体職員等が自宅へ行き、通帳やキャッシュカードをお預かりすることはありません。最近では「自宅に現金を取りに来るケース」の被害も多発しています。「キャッシュカードや通帳は渡さない」「現金を渡さない」「暗証番号は教えない」。不用意に預けることは、絶対にしないようにしましょう。



質問に返答してしまった、相手の指示に従いお金を振り込んでしまった場合など、不審な電話、不審な訪問者がある場合、すぐに連絡しましょう。

最寄りの警察または ☎ #9110
消費者ホットライン ☎ #188

キリトリ

料金受取人払郵便

神戸中央局
承認

3845

差出有効期間
令和6年3月
21日まで
(切手不要)

6 5 0 8 7 9 0

924

日本維新の会
神戸市会議員団行

神戸市中央区加納町6丁目
5番1号 1号館29階

キリトリ

身の回りでお困りことを
ご相談ください!

切り取ってポストに投函いただくか、
メールまたはFAXでお送りください。

【連絡先】

■日本維新の会 神戸市議員団

〒650-8570
神戸市中央区加納町6-5-1 1号館 29階
TEL:078-322-0185 FAX:078-322-0184
E-mail:info@kobe-ishin.jp

■岩谷しげなり事務所

〒652-0046
神戸市兵庫区上沢通1丁目3-2
湊川公園パークハウス103号室
TEL:070-8939-9970
E-mail:mail@s-iwatani.com

<https://kobe-ishin.jp/>

日本維新の会 神戸市議員団へのご意見やご提案をお書きください。



「決断と覚悟」全ては次世代のために!民間人パワーで市政改革推進!
神戸の未来のために!子供たちの未来のために!

神戸市会議員 (須磨区・6期目)
経済港湾委員会委員
大都市行財政制度に関する特別委員会委員
市会運営委員会委員

大井としひろ



編集・発行:日本維新の会 神戸市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館29F TEL(078)322-0185 TEL(078)322-0184

令和5年第3回定例会市会9月議会開催 期間(9月14日~10月24日)

須磨区民の皆様いつもお世話になります。日本維新の会神戸市会議員団の大井としひろです。令和5年9月議会は、10月24日の一般質問を最後に閉会いたしました。今回の令和4年度決算市会では、9月21日に会派を代表して久元市長以下執行部に対し、以下4点について代表質疑を行いました。1 令和4年度決算と決算カードを通じた現状分析、今後の成長戦略について 2 遅々として進まない本市のガラスびんの再資源化について 3 児童虐待事案に関する対策について 4 空港の国際化と大阪・万博について 以下、代表質疑他の質疑要旨です。

9月21日代表質疑

令和4年度神戸市一般会計歳入歳出決算他

1 令和4年度決算と決算カードを通じた現状分析、今後の成長戦略について

Q 大井としひろ議員

令和4年度の地方税収は前年度比4.4%増の45兆1,886億円で、2年連続過去最高となりました。企業収益が堅調に伸びて、地方法人2税、法人事業税、法人住民税が増加したことが影響を及ぼしました。

本市においても、個人所得の増加による個人市民税、企業業績の回復による法人市民税の増加、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う減免措置の終了による固定資産税の増加により、本市においても市税収入は大幅に増加し、過去最大規模となりました。

一方、総務省により公表されております※決算カードを用いて、本市と人口が同規模の自治体、川崎市、福岡市、京都市の伸び率で比較いたしますと、川崎市は法人市民税が少ないものの、個人市民税は非常に多い、福岡市は、法人市民税が多い傾向にあります。

それに対しまして、本市は、他の3市と比較すると、過去最高であるものの、個人市民税は低く、法人市民税も中位程度の税収で伸び悩んでいます。本市の特徴は、他市のような特徴がないのが特徴であります。

既に、日本は人口減少社会に入り、今後の人口増は、見込めない状況であります。各都市の税収構造に様々な特色がある中で、今後、神戸市が税源の涵養を図るため、どのような成長戦略を考えておられるのか、市長の御見解をお伺いいたします。

※決算カード:各年度に実施した地方財政状況調査の集計結果に



に基づき、地方自治体の普通会計歳入・歳出決算額、各種財政指標等の状況を一枚のカードにまとめたものです。

A 久元市長

最初に、令和4年度の決算と決算カードを通じた現状分析、これらを踏まえた今後の成長戦略につきましてお答えを申し上げます。

他都市との比較につきまして、お触れにされましたので、私もその点につきまして少しお答えをさせていただきますと、人口が似通っている川崎市、福岡市、京都市の3市の税収と比較をいたしますと、個人市民税の伸び率は、この3市が平均いたしまして、2.9%の増、これに対しまして、本市は1.2%の増で低い水準になっております。

一方で、法人市民税の伸び率は、3市が平均で5.9%に対しまして、本市が5.6%で、そんなに差はありませんが、やや低くなっているという状況です。

本市の特徴ですけれども、個人市民税の納税義務者1人当たりの所得は高いと、西日本でもトップクラスというふうになっております。にもかかわらず個人市民税の伸び率が低いのは、人口に占める納税義務者の割合が低い、これが20の政令指定都市中18位ということになっております。

もう一つは、法人市民税ですけれども、福岡市、京都市と比べまして課税対象の企業が少ないというのが特徴です。

こういことから税収を上げていくためには、シニア世代、そして女性の就労の割合を高めていく、もちろん働くか働かないかというのは個々の女性、シニア世代の方の判断ですけれども、そのことを前提といたしまして、働きやすい環境をいかにつくっていくのかということが大事ではないかというふうに考えております。

例えば、名谷の近くに職住近接で女性が働きやすい就労拠点も整備をいたしました。こういうような取組を全市で広げていく。当然のことながら女性が働きやすい、子育てをしながら働きやすい環境をつくっていくことも重要です。

それから、法人市民税の税収を上げていくためには、やはり企業誘致、そのための新たな産業団地の整備、そしてスタートアップ、このスタートアップには、女性やシニア世代の皆さんも参加していただ



けるような視点ということも重要ではないかというふうに思います。
当然のことながら、大きな都市の成長戦略を描いていく、都心三宮の再整備や大阪湾岸道路の西伸部、駅前のリノベーションなど、神戸の未来をつくるプロジェクトを着実に進めることで、都市の価値、また企業の創業環境を高め、税源の涵養につなげていくという努力を行っていきたいというふうに考えております。

Q (再質問) 大井としひろ議員

決算カード等で、外国人の市民税収を見ますと、平成29年度で20億2,000万円、課税件数は1万4,241件ございました。令和4年度では33億7,400万円、1万9,745件と、5年間で13億5,400万円の税収で約5,000人の外国労働者が増加しております。

この人口減少社会において、近隣の市町と人口を取り合っても根本的な解決にはなりません。

出生率を上げるか、外国の方の雇用の場を提供し、神戸で暮らしやすい環境を整備することで、外国人の方を長く居住してもらうことが神戸のまちの経済の活性化に寄与するのではないかと考えております。

神戸は外交貿易が盛んであったことから、外国の方々との交流も古くからあり、外国の方々にも住みやすいまちであります。

まちと自然が近く、空港や新幹線など、交通網が整っており、また、人情に厚い下町があるなど、神戸が既に持つ魅力をアピールしていくことも重要で、市営住宅の有効活用、多言語対応の促進、様々な手続の支援など、行政としてできることはまだまだあると考えております。

外国人の方々に住み、働くまちとして神戸を選んでいただくために、現状の課題や取組状況、今後の対応方針について御見解をお伺いします。

A 小原 副市長

神戸市の人口は2011年をピークに減少を続けていますが、在住外国人の方々の人数は増加を続けており、2022年度末では過去最高の51,325人となっています。神戸市は、在住外国人の方が安心して暮らせるよう、様々な環境整備に取り組んでいます。

11言語に対応した在住外国人向けワンストップ相談窓口の設置、生活情報や行政情報をお届けする神戸リビングガイドの発行、多言語での広報紙発行やSNSでの行政情報発信、区役所の窓口などへの無料での通訳ボランティア派遣などを行っています。

また、一部の市営住宅に学生向け住宅があり、留学生の方にも入居いただいています。さらに働くまちとして選んでいただけるよう、神戸で働きたい外国人向けの就労情報サイトWorkinKOBEの開設や、外国人留学生を主な対象とした合同企業説明会の開催等を実施し、地元企業と留学生とのマッチングを支援しています。

2 遅々として進まない本市のガラスびんの再資源化について

Q 大井としひろ議員

国連のグテーレス事務総長は、本年7月末にニューヨークの国連本部で地球沸騰化の時代が到来したと警告し、各国政府や企業のリーダーに早急な行動を促しました。

SDGs貢献都市神戸市においても、SDGsに対して新たな発想で挑み、さらにグローバル社会に貢献していくことは重要であります。

以前から申し上げてまいりましたガラス瓶のリサイクルについては、先日の9月1日に開催されました神戸市環境保全審議会において、私から神戸市の瓶のリサイクルについて質疑をし、当局から瓶の年間回



収量が9,596トン、再資源化された量が5,297トン、55.2%で、残りの4,299トン、44.8%は廃棄されていると答弁がありました。

遅々として進まない本市の瓶のリサイクルについて、さらなる取組が必要と考えています。

ガラス瓶の再資源化について、これまでの取組と今後の方針についてお伺いいたします。

A 今西 副市長

瓶の再資源化は、令和4年度は推定収集量9,596トンに対し、資源化量5,297トンで資源化率55.2%、1人当たりの資源化量3.42キログラムであった。

1人当たりの資源化量は政令市20市中15位と低く、政令市平均の5.0キログラムを目指す必要がある。

瓶を単独で収集することが資源化率の向上に有効だが、約2万4,000ヶ所あるクリーンステーションの半数程度が、路上ステーションであり、スペースやコストなどの課題がある。

瓶を割らずに、かつ多大なコストをかけることなく回収できる資源回収ステーションなどを活用したモデル事業に取り組んでいる。

市民のリサイクル意識の向上や地域との協力を図り、瓶単独回収に向けた様々な課題をどのようにクリアするか、他都市の事例等を参考に検討を進めて参りたい。

Q (再質問) 大井としひろ議員

神戸市が廃棄した4,299トン、この数字は、神戸市に次いで人口の多い姫路市と尼崎市の令和3年度の両方を足した資源化量に匹敵するわけでありませす。

10年前の質疑では、1万1,000トンを集めて、210トンしか再資源化されず、1万790トンが埋立てに廃棄されていました。10年前に比べればましではありますけれども、地球沸騰化で、酷暑やゲリラ豪雨、スーパー台風の発生など、異常気象を発生させる要因に本市の瓶の廃棄が繋がっているとの認識が欠如しております。

瓶のリサイクルについて、ガラス瓶3R促進協議会にアドバイスをいただきながら、環境局に私は提言してまいりましたが、SDGs貢献都市神戸の名に恥じぬよう、瓶の再資源化にもっと真剣に取り組むべきでないかと思っておりますけれども、再度御見解を伺いいたします。



A 今西 副市長

瓶の資源化を進めるためには、理想的な方法としましては、3色を分別をしまして、コンテナで収集する瓶単独回収が有効な手段でございまして、ガラス瓶3R促進協議会からもそのアドバイスをいただいているところです。

この方法は分別の負担に加えまして、コンテナの管理の負担を市民にお願いする方法になるというふうにも理解をしています。

一方で、高齢化や人口減少等を背景に、クリーンステーションの管理に係る負担という問題が顕在化しておりまして、現在、市民の負担をいかに減らせるかという観点での在り方を整理しているところでございまして、瓶単独収集の具体的な実施方法については慎重に判断する必要がありますと考えています。

いずれにしても、ガラス瓶3R促進協議会などの事業者からの御意見もいただきながら、さらに有効な方法がないか、他都市の事例等を研究しながら引き続き検討してまいりたいと考えています。

3 児童虐待事案に関する対策について

Q 大井としひろ議員

兵庫県は、先日、虐待事案に関する児童相談所と警察との情報共有について、リアルタイムで共有するシステムを構築すると発表いたしました。

県警と様々な情報をシステムも含めて連携しており、神戸市においても、一刻も早くこのシステムを導入し、兵庫県警と密に情報を共有すべきだと考えます。

本市では、こども家庭センターが所管する案件は、警察と月1回、情報共有しているとのことですが、児童虐待への対策として、兵庫県と同様にリアルタイムでの情報共有が必要でないか、御見解をお伺いいたします。

A 小原 副市長

児童虐待事案について、こども家庭センターは兵庫県警察と情報提供や連携を行っています。

兵庫県は児童相談所と警察のリアルタイム情報共有システムを令和6年秋に構築する予定で、神戸市も参加を検討しています。

同様のシステムは埼玉県や神奈川県でも導入されており、兵庫県は全国で3番目になります。

神戸市としても、警察との緊密な連携、情報共有は非常に重要であると考えており、今後、兵庫県のシステム参加に向け、情報の共有範囲、また導入費用等について、兵庫県の状況もお聞きしながら、課題等を整理した上で検討を進めてまいります。

Q (再質問) 大井としひろ議員

令和元年9月に文教こども委員会の行政調査で埼玉県庁にお伺いして、児童相談所と県警との児童虐待情報の全件共有について調査をいたしました。

児童相談所と警察署がリアルタイムで一時保護や兄弟の有無、安全確認状況等を含む詳細情報を直接確認できる仕組みは全国初と、4年前に埼玉県でお聞きしました。活用事例として、母親の内縁の夫から日常的に暴言や暴力を振るわれていた兄弟のケースが紹介され、家出した姉を保護した際、警察には全く情報がなく、通常であればそのまま家に帰す事例であったが、児童相談所の



情報で内縁の夫からの身体的虐待歴を確認し、児童相談所に対して兄弟の一時保護を求めて身柄付通告を行い、内縁の夫は暴行の被疑者として逮捕されました。児童相談所との情報共有により過去歴が確認でき、役立っているとのことでありました。

神戸市でもこの仕組みが早期に構築できていれば、今回の事件も防げたのではないかと考えております。このことについて御見解をお伺いしたいと思います。

A 小原 副市長

神戸市といたしましても、警察とのリアルタイムの情報共有につきましては非常に重要であると考えておりますので、兵庫県のシステム参加に向けて、情報の共有範囲や導入費用について、県の状況も聞きながら課題を整理した上で検討を進めてまいりたいと考えているところでございます。

4 空港の国際化と大阪・万博について

Q 大井としひろ議員

神戸空港は、2030年前後には国際定期便の運用開始が予定されており、今後、国際都市神戸の玄関口としての役割を期待しているところであります。

先日、未来の変化予測を踏まえた国際都市神戸の在り方に関する調査業務を業者に委託するとお聞きしましたが、空港の国際化を控えた今、国際都市神戸の展望をどのように考えておられるのか、市としての御見解をお伺いいたします。

A 久元 市長

空港の国際化を踏まえた国際都市神戸の展望ですが、神戸市の2025ビジョンのテーマ、海と山が育むグローバル貢献都市ですけれども、このテーマには、私たちが先人から受け継いだ海と山、美しい自然環境を大切にしながら、グローバル社会の中で貢献できるような国際都市でありたいと、そういう願いを込めているつもりです。

神戸空港の国際化によりまして、神戸のまちが国際都市としての新たなステージに向かう中、これまで育まれてきたまちの国際性や多様性を生かしていくとともに、テクノロジーの進化など、激変する社会情勢を見極め、新たな視点でまちの将来像を描いていくことが必要です。

今後、神戸空港における2025年の国際チャーター便の運用、2030年前後の国際定期便の就航を契機に、多くの外国の方々ダイレクトに神戸を訪れることとなりますので、ビジネス需要とインバウンド需要をしっかりと捉え、市内経済に波及させながら、国際都市神戸としての価値を一層高めていく取組が重要です。

全国的に経済の担い手不足や地域活力の低下など、社会課題が顕在化していく中、神戸はこのような国際化への好機をしっかりと捉え、世界から優れた人材が集まり、異なるバックグラウンドを持つ人々の交流を促進することを通じ、新たな価値を創造する都市に進化していく取組をしっかりと進めていきたいと存じます。



©一般財団法人神戸観光局

Q (再質問) 大井としひろ議員

万博に訪れるインバウンドの取組に向けた西日本・九州ゴールデンルートアライアンスを設立されると。そういう取組が進められるとございました。訪日リピーター客を取り込み、神戸市内に経済効果をもたらすことができると考えております。観光における西日本の自治体コンソーシアムの推進など、今後の本市の取組を推進していただきたいと思っておりますけれどもご見解をお伺いします。

A 今西 副市長

2025年の万博は2,800万人お越しになり、そのうち約350万人のインバウンド客が見込まれています。それをいかに神戸に取り込んでいくかということは大変重要な課題です。県、そして、昨日発表させていただきました西日本・九州ゴールデンルートアライアンスなども活用して、できるだけ多くの方が神戸にお越しになるように、私も頑張ってまいります。

阪神・オリックス優勝パレードについて

要望 大井としひろ議員

最後に、阪神のAREも18年ぶりに実現しまして、オリックスも昨日優勝しました。サッカーのヴィッセル神戸も今、首位を走っております。ラグビーやバスケット、バレーボールも世界で活躍をしています。

そして、大阪・関西万博も再来年開催され、世界の人々が関西にお越しただけます。明るい、熱い話題が今、関西に集中しております。ぜひ優勝パレードを市役所前から元町駅、県庁前まで、阪神タイガースをはじめ優勝したチームのパレードをぜひ実現していただき、関西の中の神戸の心意気を示してほしいと思っております。本件に関し、市長、一言お願いいたします。

A 久元 市長

今、御指摘がありましたように、野球、それからヴィッセル神戸、バスケット、ラグビー、来年はパラ陸上もあり、まさにスポーツで神戸が元気になる、関西が元気になるという、非常にこれは期待が持てる、そういう時期がやってきたというふうに思っております。

パレードにつきましては、兵庫県と今調整中でありまして、県庁まで行くのはなかなか難しいかもしれませんが、どういう方法で実現できるのか、ぜひパレードにつきましては実現に向けて神戸市もしっかり協議に参画をさせていただければと思います。

パレード開催日

令和5年11月23日(木曜日・祝)

場所・時間 兵庫会場

場所：三宮(東遊園地前～フラワーロード～三宮中央通り～鯉川筋～メリケンパーク)
 時間：11時00分 阪神タイガース
 14時00分 オリックス・バファローズ

決算特別委員会 第一分科会

9月25日 選挙管理委員会関係では、「選挙管理委員会委員の選挙運動と政治活動について」質疑を行いました。

10月4日 建築住宅局関係では、

1. 市営住宅の高齢者見守りについて
2. 市営住宅指定管理者に対する評価について
3. 市営住宅の外国人入居促進に向けた電子化への対応について
4. 第3次マネジメント計画について
5. 適切な管理が行われていない空地所有者への支援について
6. 分譲マンションの建て替え支援について、質疑を行いました。



質疑の様子を映像でご覧ください



大井としひろチャンネル



検索

経済港湾委員会 10月17日 ○港湾局関係

Q 大井としひろ議員

須磨海づり公園から須磨浦漁港までの遊歩道の検討状況についてお聞きします。

A 港湾局部長

検討状況ですが、測量をかけておりまして、現地の高さとか平面的な状況を確認しております。これを踏まえまして、JRとの協議を少ししておる状況です。

波が直接当たるような部分がありますので、こここのところの構造をどうしていけばいいかということ、今現在、検討している状況です。

回遊性を高めるということは大事だというふうに我々も感じています。周辺との連携ということで、須磨海づり公園の公募が進められており、その提案とかも踏まえて、検討していきたいと考えております。

Q 大井としひろ議員

須磨海岸から須磨浦公園への周遊性、回遊性を高めていただいで、より多くの方々にお越しいただけるよう港湾局も協力していただけたらとよろしくお願い致します。



○経済観光局関係

Q 大井としひろ議員

神戸須磨シーワールドが来年6月にオープン予定ですが、地元の議員として車の流れについて大変危惧をしております。

新しく整備される駐車場は、緑化協会が管理者で建設局マターになるんでしようけれども、駐車場が今までよりも240台プラスされて1,316台というような駐車場が整備されているというのをお聞きしていますが、車の流れについてシミュレーションというんですか、想定というのはどんなふうに考えておられるのか、お伺いします。



A 経済観光局局長

新しい神戸須磨シーワールドは来年6月に開業する予定で、初年の年間来場者数は250万人を見込んでいます。夏の海水浴シーズンには、1日最大3万人の来館者が予想されます。以前の調査によると、来場者の約40%が自家用車で来るという場合、1日当たりの車の台数は3,300台ぐらいになると推測されます。駐車場のキャパは従前に比べて約1.2倍に増やすが、夏のピーク時には入庫待ちや渋

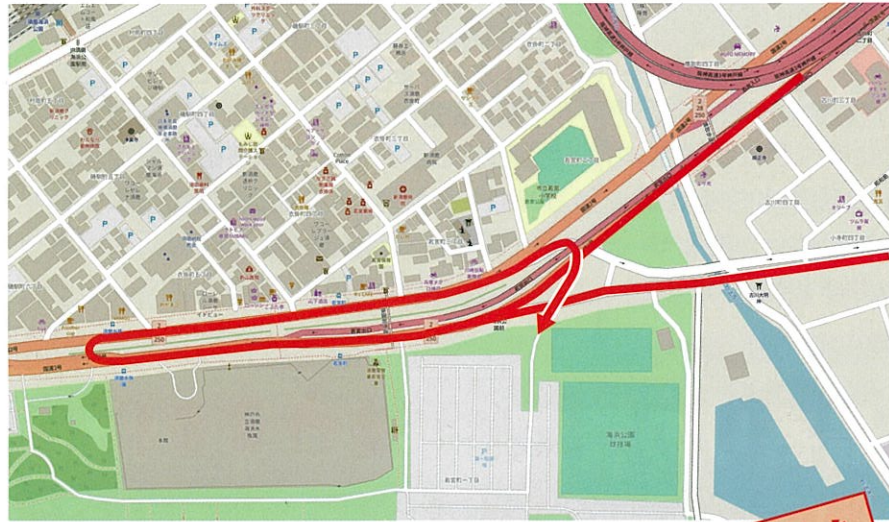
滞が発生する可能性があるのではないかと考えています。

渋滞を緩和するために、以下のような方策を検討しています。公共交通機関への誘導と言うことで、入園と公共交通機関の連携チケットを発行する。

駐車場の混雑状況の表示をホームページ上で駐車場の空き状況を知らせる。

臨時駐車場や隔地駐車場の設置を行い近隣や少し離れたところに臨時駐車場を設け、そこからの来場者の輸送を行う。

事前予約制などを導入し、入館時間帯を予約させることで、人のピークをこちらでコントロールしていくなど、これまでしていなかったような渋滞対策を講じて入庫待ち、あるいは渋滞の緩和に努めていきたい。



議員歳費削減条例を提出

否決されました

神戸市市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の件

少子・超高齢社会の進展の伴う社会保障費の増加等により、今後一層厳しい行政運営・財政運営が求められる本市において、更なる行財政改革が必要であり、神戸市会議員(議長、副議長、各委員会委員長及び副委員長を除く)の議員報酬は横浜市に次いで2番目に高額であり、物価高騰など経済的な困難に直面している市民に将来的な負担の増加を強いることがないように、まず議員自ら議員報酬を削減し財源を生み出すことで改革への覚悟を示し、行財政改革を推進していくべきと、日本維新の会議員団15名で条例改正案を提案しましたが、賛成少数で否決されました。



神戸市の人口に対し議員歳費が高く議員定数が多い

▼議員歳費と人口と議員定数(政令市)

市名	月額 (額)	人口 (額)	議員定数
横浜市	¥953,000 (1)	3,771,961 (1)	86
神戸市	¥930,000 (2)	1,510,171 (7)	65
北九州市	¥880,000 (3)	924,143 (13)	57
福岡市	¥880,000 (4)	1,631,409 (5)	62
京都市	¥864,000 (5)	1,448,964 (8)	57
札幌市	¥860,000 (6)	1,973,000 (4)	68
名古屋市	¥841,500 (7)	2,325,778 (3)	68
川崎市	¥830,000 (8)	1,540,890 (6)	60

(令和4年10月現在)

地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を求める意見書

反対しました

地方議会議員の厚生年金加入が認められれば、超少子高齢化による扶養費の増大等で、今後さらに厳しさを増していく自治体財政に新たな税負担を生じさせることとなります。その額、神戸市会では毎年約7,000万円以上、日本全国では約200億円にも上ると試算されています。急激な原油価格・物価高騰等により、国民生活や企業活動等に多大な影響が出ている中、まずもって優先すべきはそれらの対策であり、地方議会議員の厚生年金加入では無いはずで。

▼議案各会派賛否一覧

	自民	維新	公明	共産	こうべ未来	つなぐ
報酬削減	×	○	×	○	×	△
厚生年金	○	×	○	×	○	×

皆様のご意見をお聞かせください。

皆さんからいただいたご意見は神戸市政に反映するため提案してまいります。アンケート調査へのご協力をぜひお願いいたします。

キリトリ

あなたのお考えに当てはまるところに○をつけてください。

●神戸市の現状に満足していますか?

- ①満足している ②ある程度満足している ③ふつう
④やや不満 ⑤不満(理由)

●日本維新の会 神戸市会議員団は身を切る改革を実施しています。議員の月額報酬20%相当12万円(手取り額)を被災地等に寄付しています。皆さんはご存知ですか?

- ①知っている ②知らなかった

●神戸市会議員に市政相談などで接したことがありますか?

- ①知人などを通じて接した ②地域行事などで接した
③市政相談や意見交換をした ④ない

●あなたの意見や市民の声が神戸市政に反映されていると思いますか?

- ①思う ②やや思う ③思わない
④わからない ⑤その他()

●神戸市須磨区での要望や、あったらいい事柄があればお書きください。 例) 子育て支援、空家対策についてなど

ふりがな	
お名前	
ご住所	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	





不審な電話にご注意を!

高齢者に対し、区役所職員などのふりをして医療費(健康保険料等)などの還付金があると連絡し、ATMに行くように誘導し振込みをさせようとする、いわゆる「還付金詐欺」に関する相談が区役所に多く寄せられています。

銀行・コンビニのATMで還付金の手続きはできません!返金されることはありません!
「ATMで医療費・保険料・税金などを返金します」というのは、詐欺です!

特殊詐欺被害に遭わないために...

Point 1

ナンバーディスプレイ機能や、特殊詐欺対策電話機※を活用して「知らない番号の電話には出ない、会話をしない」。在宅中でも常に留守番電話機能を使用し、留守番電話メッセージを活用しましょう。

※神戸市では「特殊詐欺対策電話機等の購入に対する補助制度」を実施しています。
詳しくは神戸市総合コールセンター(電話078-333-3330、FAX:078-333-3314)までお問い合わせください。

Point 2

「還付金がある」「還付金の手続きができていない、期限が過ぎている」などの内容で電話がかかってきたら還付金詐欺を疑ってください。

健康保険料などの還付金に心当たりがある場合でも、すぐにATMに行ったりせず、最寄りの区役所などに問い合わせ、内容を確認しましょう。

Point 3

自治体職員等が自宅へ行き、通帳キャッシュカードをお預かりすることはありません。最近「自宅に現金を取りに来るケース」の被害も多発しています。

「キャッシュカードや通帳は渡さない」「暗証番号は教えない」。不用意に預けることは、絶対にしないようにしましょう。

質問に返答してしまった、相手の指示に従いお金を振り込んでしまった場合など、不審な電話、不審な訪問者がある場合、すぐに連絡しましょう。

最寄りの警察 または ☎ #9110
消費者ホットライン ☎ #188

料金受取人払郵便

神戸中央局
承認
6468

差出有効期間
令和7年11月
14日まで
(切手不要)

6 5 0 8 7 9 0
924

日本維新の会
神戸市議員団
行

神戸市中央区加納町6丁目
5番1号 1号館29階



日本維新の会 神戸市議員団へのご意見やご提案をお書きください。

ご不便・ご不満などがございましたら
お気軽にご相談ください

切り取ってポストに投函いただくか、
メールまたはFAXでお送りください。

【連絡先】

■ 日本維新の会 神戸市議員団

〒650-8570
神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館29F
TEL (078) 322-0185 FAX (078) 322-0184
E-mail: info@kobe-ishin.jp

■ 大井としひろ市政事務所

〒654-0012
神戸市須磨区飛松町2丁目1番20号フォールヴィラ板宿101号室
Tel 080-5339-3001 Fax 078-743-6155
E-mail: ooi@kobe-001.com

<https://kobe-ishin.jp>

神戸市政についてのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

神戸市議員

大井としひろ

事務所 〒654-0012 神戸市須磨区飛松町2丁目1番20号フォールヴィラ板宿101号室
Tel 080-5339-3001 Fax 078-743-6155

- メールアドレス ooi@kobe-001.com
- 公式ホームページ <http://kobe-001.com>
- おーいブログ <http://blog.goo.ne.jp/kobeooi>
- You Tube 大井としひろチャンネル
- X(旧Twitter) KOBE_SUMA_OOI

大井としひろ

検索

